現代の木質内装に目を向ける

システム科学技術学部建築環境システム学科
1年　菊地小雪　加藤純麗

指導教員　建築環境システム学科
教授　板垣直行

1.目的

木質仕上げにはどのような特徴があり、人々にどのような効果をもたらしているのか調べ、木質内装仕上げの構成要素が空間のイメージにどのように関係しているかを定量的に評価する方法や物理的な特性を評価して検証するという研究のプロセスを体験したいと考えた。

2.秋田県内の木質空間の視察

現代の木質内装に目を向けるということで県内の建築の木質空間を視察した。視察した箇所は、秋田市方面、大仙市方面、大館・鹿角方面、能代方面である。

3.木質仕上げ空間についての官能検査

建築学科21期生20名に実験に協力してもらい、アンケートにより感じ方を調査した。

＜検査方法＞

①視察した木質内装空間画像を対象とし、材料の種類、仕上げの構成、木材の占有率、色、明るさなどの条件の異なる画像サンプルを20枚選定した。

②建築空間を表す形容詞対として、建築雑誌での解説文章や既往の研究などから表1に示す14の形容詞対を選定した。各画像サンプルに対する印象をその形容詞に対して「非常に思う-やや思う-どちらでもない-やや思わない-非常に思わない」の５段階の尺度で評価をしてもらった。

③ 全てのサンプルについて②の回答をしてもらった後、全ての画像サンプルの中で「好き」と感じるものを上位3つ選んでもらった。さらにその理由について、回答してもらった。

図１　秋田県木質空間視察マップ

表１　官能検査結果

	サンプル	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
平均	キーワード																				
1	高級な－安っぽい	2.7	4.4	2.2	3.7	2.5	3.3	2.2	3.4	3.9	3.9	2.7	3.9	3.7	4.2	3.2	3.0	2.7	4.4	3.7	3.2
2	新しい－古い	3.9	4.1	2.1	4.7	3.5	4.6	1.2	2.3	3.1	4.5	4.0	4.4	2.5	4.5	1.1	4.5	4.1	1.8	4.6	4.5
3	洋風な－和風な	3.3	1.9	2.4	3.9	3.6	3.6	1.7	1.8	4.2	4.5	3.0	3.1	1.0	3.5	1.1	3.6	4.2	1.1	4.0	3.8
4	豪華な－質素な	2.6	3.8	1.8	3.6	2.2	3.8	1.4	2.8	3.6	3.7	2.8	3.9	2.2	4.3	2.1	2.8	2.7	3.0	3.5	3.5
5	明るい－暗い	4.0	4.4	3.1	4.6	3.8	4.5	2.4	3.1	3.0	4.1	4.3	4.3	3.7	4.1	2.2	4.7	4.1	3.6	4.5	5.0
6	すっきりした－ごちゃごちゃした	3.3	4.6	2.8	4.3	4.5	4.0	3.0	4.3	4.2	4.1	3.6	4.0	4.8	3.0	3.1	4.0	3.7	4.9	4.2	4.4
7	居心地が良い－居心地が悪い	3.1	4.7	3.3	3.9	3.7	3.7	3.5	4.3	3.5	4.4	3.5	3.5	4.8	4.0	3.7	3.9	3.0	4.1	3.1	4.2
8	広い－狭い	3.2	3.4	3.1	4.4	4.0	4.8	2.6	3.1	4.3	3.4	4.0	4.4	3.2	4.9	3.5	4.2	3.5	5.0	4.3	4.4
9	現代的な－伝統的な	3.7	2.4	2.6	4.5	3.5	4.5	1.9	2.1	3.3	4.4	3.8	3.8	1.4	4.6	1.2	4.0	4.2	1.1	4.8	4.3
10	好き－嫌い	3.2	4.5	3.2	4.4	3.4	4.0	3.7	3.9	3.8	4.8	3.4	3.8	4.6	4.3	3.5	3.8	3.0	4.3	3.5	4.4
11	調和のとれた－調和のとれない	3.7	4.5	3.0	4.4	3.6	3.9	4.1	4.2	4.2	4.2	3.7	3.7	4.7	4.3	4.0	4.5	3.5	4.6	3.5	4.2
12	美しい－美しくない	3.1	4.6	2.5	4.6	3.0	4.5	3.1	3.6	4.0	4.5	3.3	3.8	4.5	4.7	3.6	4.0	3.2	4.5	3.5	4.3
13	暖かい－冷たい	3.7	4.2	3.1	4.1	4.1	3.6	2.9	4.2	3.4	3.3	3.6	3.7	4.5	3.7	3.4	4.6	3.6	4.2	3.1	4.2
14	開放的－閉鎖的	3.5	3.3	2.9	4.4	3.9	4.8	2.6	3.4	3.9	4.0	3.8	3.7	2.7	4.7	2.7	4.4	3.3	4.2	3.6	4.5

＜好きな理由＞
色合いがいいから
デザインがいいから
心地よさそうだから

図２「好き」なサンプル画像上位3つ

4.考察

「好き」なサンプルとしてJの空間が１位だった。Jの空間は木材の占有率こそ高くないが石を用いた壁や、窓から覗く緑により自然を身近に感じられることから高く評価されたと考えた。また、伝統的な建物であっても、ありきたりな空間はあまり好まれず,取り入れたいと思う人が少ない。対して、現代的なオシャレな空間が好きな人が多く、和風な空間でも現代的な要素を取り入れた空間を好む傾向があった。木質内装仕上げには、どの空間も調和のとれたすっきりとした空間に感じさせる特徴があるとわかった。

5.まとめ

この研究での見学を通して、現代の建築における木質内装仕上げが空間の雰囲気やイメージに大きく影響していることが分かった。特に公共施設や商業施設などでは、効果的に木質仕上げが施されており、その建物の用途に適した使われ方をしていた。

官能検査では、木質仕上げを施すことにより、調和のとれたすっきりとした空間に感じさせる効果があることがわかった。

その他にも、現代に好まれる建築物の共通点や、特徴なども知ることが出来た。